

沖縄県国頭郡伊江村 西江上方言の比喩語について

生塩睦子

はじめに

1. 調査対象地：伊江島は沖縄本島北部の本部(もとぶ)半島から北西約9km離れたところにある。島は東西約8.4km, 南北3km。島の東部の中央には城山(172m)があり、その山麓から南海岸にかけて集落がひらけている。一島で一村(伊江村)をなしており、8か字からなる。

生業は主として農業(さとうきび・葉たばこ・落花生など)。

本部半島渡久地港から伊江島までカーフェリーが就航(一日4~5往復。所要時間30分)。村内には、集落を一周するバスが運行。

人口5,643人, 世帯数1,953。(1993年1月31日現在)。

2. 調査年月日：1992年8月20日・21日・25日
3. 話者：山城文男さん 1911年(明治44年)8月生・81歳

沖縄県国頭郡伊江村西江上在住

知念シゲさん(昭和10年生・西江前在住)に、伊江村内に於ける語使用の状況を説明していただいた。

4. 調査場所：伊江村教育委員会老人会室
5. 調査方法：面接質問

(注)・方言表記はカタカナを用いたが、語頭の無気音音節だけはひらかなを用いた。

てゅ〔tju〕・ちゅ〔tʃu〕・てゃ〔tja〕・わ〔wa〕・つぁ〔tʃa〕

- ・単語のアクセントは「(下り核)だけで示した。
- ・比喩語とは認められない語は、〔 〕に入れて示した。
- ・語頭に*印を付けてあるのは、補充調査項目である。

I 《 自然現象 》

- 1 日照り雨 ティダアミ^ㄱ(太陽雨)

<名> 日照り雨。 中・老年層。

- 2 入道雲 アガ^ㄱリタチグム(東の立ち雲)

<名> 日の出前, 東の空に出る入道雲の形をした雲。 単に, タチグム^ㄱとも言われる。 老年層。 稀。

中年層以下では ユアキグム^ㄗ (夜明け雲) と言う。

- 3 旋風 ハザ^ㄗマチ (風巻き)
〈名〉旋風。つむじ風。 若・中・老年層。
ルーハザマチ (竜の風巻き)
〈名〉竜巻。竜巻は竜がおこすと考えられていた。 中・老年層。
- 6 北斗七星 [ナナツィブ^ㄗシ 〈名〉北斗七星。七つ星。 若・中・老年層。]
- 8 流れ星 プシ^ㄗヌ ヤー^ㄗゲ^ㄗ シュン (星が宿替える)
〈句〉星が流れる。 老年層。稀。
プシ^ㄗヌ ツ^ㄗー^ㄗ テュ^ㄗン (星がうんこをする)
〈句〉星が流れる。 若・中年層。
- * ほうき星 イリガーニブ^ㄗシ (入れ髪星)
〈名〉ほうき星。 ポーチブ^ㄗシ の別名。 老年層。
- * 三日月 ナビゲズィチュ^ㄗ (杓子月)
〈名〉三日月。 ニチャ^ㄗズィチュの別名。 中・老年層。

II 《 動物 》

- 9 かわはぎ [ハーハジャ^ㄗ 〈名〉かわはぎ。 中・老年層。 古。]
[カーハジャ^ㄗー 〈名〉かわはぎ。 若・中年層。 新。]
- 11 ひきがえる [アタディ^ㄗカ 〈名〉蛙。 若・中・老年層。]
- * おたまじゃくし ズ^ㄗーミアタディカ (尻尾生え蛙)・ズ^ㄗーアタディカ (尻尾蛙)
〈名〉おたまじゃくし。 若・中・老年層。
- 12 青大将 [オーナー^ㄗジ 〈名〉琉球青蛇。 若・中・老年層。
東地区では オーナ^ㄗジ と言う。]
- 13 とかけ [イジャン^ㄗザ 〈名〉とかけ。 若・中・老年層。]
- * やもり ヤドゥマブ^ㄗヤ (宿守り)
〈名〉やもり。 中・老年層。
- 14 かまきり [シャ^ㄗー^ㄗトウ 〈名〉かまきり。 中・老年層。]
- 15 みずすまし プチャガーミ^ㄗ (池の亀) または ウニ^ㄗガーミ (海の亀)
〈名〉みずすまし。 中・老年層。稀。
サンシンティ^ㄗチャ (三味線弾き)
〈名〉あめんぼう。 中・老年層。稀。
- * とんぼ ホールグーシュアケー^ㄗズィ (唐辛子とんぼ)
〈名〉ショウジョウトンボ。 赤とんぼ。 中・老年層。
- 17 せきれい [ズムナガドゥ^ㄗイ 〈名〉せきれい。 尾長鳥の意。 中・老年層]
- 18 ふくろう メ^ㄗーズィクフ (猫の首すくめ。「メ^ㄗー」は「猫」, 「ズィク^ㄗニユ
ン」は「首をすくめる」)

<名> ふくろう。 老年層。

Ⅲ 《 植物 》

20 どうもろこし ヤマトトージニ (大和唐黍)

<名> どうもろこし。 中・老年層。

21 いんげん豆 [インゲン <名> いんげん豆。 新。]

22 そら豆 トーマミ (唐豆)

<名> そら豆。 中・老年層。

* 人参 アハデークニ (赤大根)

<名> 人参。 若・中・老年層。

23 木くらげ ニニグイ (耳の形をしたきのこ)

<名> 木くらげ。 中・老年層。

28 すみれ トウイヌコーコーバナ (鶏コッコの花)

<名> すみれ。 中・老年層。

* 雑草 ムフナケインサ (婿泣かせ草)

<名> 雑草の名。 根が長くて抜きにくい草。 老年層。 稀。

31 ねむの木 [ギンネム <名> ねむの木。 新。 第二次大戦前、家畜の飼料として植えられたが、今は緑肥として使われている]

* 仏桑華 グショーパーナ (後生の花)

<名> ハイビスカス。 戦前は屋敷内に植えることを禁じられ、墓所にしかなかった。 中・老年層。

Ⅳ 《 性向 》

32 熱しやすく冷めやすい人

[アチサマイバーサル チュー <句> 飽きっぽい人。

中・老年層。]

33 あわてん坊 ショーヌガ (性の抜けた者)

<名> 注意深くない人。 落ち着きのない人。 中・老年層。

[アセーチムン <名> 気のせわしい人。 若・中・老年層。]

34 動作の鈍い人 [トゥリバイムン <名> 頭の働きが鈍くボーっとしている人

若・中・老年層。]

35 嘘つき テーフティーツィ (百のうち一つ。 百に一つが本当、の意)

<名> 嘘つき。 老年層。 古。

ヒャクイチ (百一)

<名> 嘘つき。 若年層。 新。

36 ほらふき パイラ ソー ナシュン (針から竿にする)

<句> 大ぼらをふく。 老年層。

- 37 おしゃべり {ユンタ^ラ <名> おしゃべり。口数の多い人。若中老年層。}
 {チュ^ーナサーシムン <名> かげ口をたたいて人をおとし入れようとする人。 中・老年層。}
 {ムヌユニムン^ク <名> 人をけなす人。 中・老年層。}
- 38 冗談言い ガンマールム^ニ (いたずらもの言い)
 <名> あれこれたわいもないことを言うこと。 中・老年層。
 {テ^ーファ <名> 冗談。 中・老年層。}
- 39 口先だけの人 クチ^トウ チ^ムヤ ナ^メメ (口と心は各自めいめい)
 <句> ことばだけ良くて、真実味が少しもないこと。中老年層。
 アンダグチャ^ー (油口の人)
 <名> 甘言を弄する人。ごますり。 若・中・老年層。
- 41 のらりくらし煮えきらない人
 {トウイチワ^ミ シューサヌ チュ^ー <句> なかなか判断を下すことができない人。 若・中・老年層。}
- 42 怒りっぽい人 {タン^チムン <名> 短気者。すぐ腹を立てる人。中・老年層。}
 タンチャ^ー は沖縄本島からの移入語。}
- 43 気むらな人 ハズィ^ヌ ペ^ナイ ニシ^{ナイ} 「シュ^ースイトゥ
 イヌ^ムン (風が南向きになったり北向きになったりするのといっしょ) <句> 気が変わりやすいことのたとえ。 若中老年層。
- 44 泣きむし {ナチン^サ <名> 泣きむし。 若・中・老年層。}
- 45 おてんば娘 {アサル^ク <名> おてんば娘。 中・老年層。}
 {サルゲ^ク <名> おてんば娘。 中・老年層。}
- 47 出しゃばり バンダディ^シ (バンダ干瀬。伊江島の南海上にある干瀬で、少し潮がひくとすぐ頭を出す岩礁。)
 <名> 出しゃばり。 中・老年層。
 イジャシバジ^ン ネ^ーヌ (出る恥もない)
 <句> 少しの遠慮もなく。 中・老年層。
- 48 どこへでも顔を出す人
 {メ^ーサシャガユン <動> われがわれがと出ていく。 老年層}
- 50 小心者 {スイカ^ムン <名> 臆病者。 中・老年層。}
- 51 内弁慶 ヤーイジャ^ー (家で意地がある人)
 <名> 家でわがままをする人。 中・老年層。
 ニチ^クンニン (道官人)
 <名> 外面がよく、家では大いばりの人。 老年層。 稀。
- 52 社交性のない人 {シキング^トウ 「つ^アーヌ チュ^ー <句> 世間ごとをしな

い人、人と付き合いをしない人。 中・老年層。]

53 妻に対して頭のあがらない男

トゥジ⁷マカシ (妻まかせ)

<名> 妻のいいなりになっている男。 中・老年層。

54 けち

[グマイ⁷ <名> けち、けちんぼ。 若・中・老年層。]

パッティグマイ⁷ (果てのけちんぼ)

<名> すごいけちんぼ。 中・老年層。

グンジュグマ⁷イ (五十<一厘錢の半分>も出さないけち)

<名> ものすごいけちんぼ。 老年層、稀。

55 欲張り

[ユクナム⁷ <名> 欲張り。 若・中・老年層。]

パッティユク⁷ (果ての欲張り)

<名> すごい欲張り。 若・中・老年層。

* おひとよし

アハヨホ⁷ (誰にでも釣られる魚の名)

<名> 人と争うことのない人。 中・老年層。

* あくどい奴

チュ⁷ツケムン (人喰い者)

<名> 鬼みたいな奴。悪口を言ったりかけ口をたたいたりして人を落とし入れるような奴。 中・老年層。

* 役たたず

サン⁷ジャリー (これ以上継ぎ接ぎできない、使いふるしの網)

<名> 何にも使えない奴。 老年層。

タフツツ⁷ (蛸の糞)

<名> 何をさせても役に立たない奴。 中・老年層。

* 安女郎

サング⁷ナ⁷ (三貫の人)

<名> 三貫で買える安女郎。 老年層、稀。

V 《 食生活 》

56 大食漢

ウブワ⁷タ (大きい腹)

<名> 大食い、大飯食らい。 若・中・老年層。

スイカナイヤシンチュ⁷ (養い易い人)

<名> 好き嫌いなく何でも食べる人。 老年層。

59 塩あじが薄い

[アッパ⁷サ <形> 味が薄い。 若・中・老年層。]

60 大酒飲み

ワリ⁷ガミ (割れ甕)

<名> 人並みはずれた大酒飲み。 中・老年層。

* 食いしん坊

ガチ⁷メ (餓鬼猫)

<名> ひどい食いしん坊。 中・老年層。

トゥイ⁷ケメ (鶏喰い猫。昔は鶏を放し飼いでいたが、その飼っている鶏さえ追いかけて食べようとする猫)

<名> ものすごい食いしん坊。 老年層。

VI 《 動作・様態 》

63 恥ずかしくて顔が赤くなる

バズィカ「ー」シャヌ ティ「ー」 ツィスイキラタ「ン」ガニ
ツァ「ー」 マッカ「ー」ラ ナタン（恥ずかしくて火をつけられた
ように顔が真っ赤になった）<句> 中・老年層。

64 どしゃ降りの雨 ボ「ー」ヌピナル アミ「ー」（棒の大きさほどの雨）

<句> どしゃ降りの雨。 中・老年層。

67 髭が伸び放題なさま アトゥ「メー」 ダ「ー」ヤラ ワハラン（どっちが前やら後
やらわからない）

<句> 髭を伸び放題にしてだらしなさいさま。 中・老年層。

72 目を丸くする ミー バンチヌ「ギ」ユン（目がとび出す）

<句> たいへんびっくりする。 中・老年層。

74 焦げ臭いにおい ナンチチハザ「」（鍋にくっついたごはんのお焦げのにおい）

<名> 焦げ臭いにおい。 老年層。]

76 末っ子 ナシ「ッ」チャ（生みっ切れ）

<名> 末っ子。 若・中・老年層。

77 一生懸命頑張る ガー ハキユ「ン」（根性をかける）

<句> 頑張る。精一杯仕事をする。 中・老年層。

まとめ

当方言の比喩語の特徴的な語構成

・動詞連用形が共通語に比べて広く使われていること。（例。28*ムフ「ナ」ケインサ、
54 パッティグマ「イ」、55 パッティユク「」、55*チュ「ッ」ケムン）

・動詞連用形または名詞に「ヤー」を融合させて、その行為者・性質所有者を意味する
名詞を造ること。（例。13*ヤドゥマブ「ヤ」、15 サンシンティ「チャ」、・・・）

造語発想上の特色 —— 生活に密着したものに譬えている ——

・一次語を区別するため、身近なものに譬えた語をその語の前にくっつけて新二次語と
している。（例。8*イリガーニブ「シ」、15*ホールグーシュアケー「ズ」イ、・・・）

・見た感じから連想したものに譬えて命名している。（例。15 プチャ「ガー」ミ・サン
シンティ「チャ」、18 メ「ー」ズィクフ、64 ボ「ー」ヌピナル アミ「ー」、・・・）

・そのものの性質・機能の類似性に着目して命名している。（例。47 バンダディ「シ」、
55*アハヨホ「」・サン「ジャ」リー、60 ワリ「ガ」ミ、60*ガチ「メ」、・・・）

（おしおむつこ 広島経済大学）